

# St. Luke's International University Repository

## 聖路加看護学会設立趣意書

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2021-03-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10285/580">http://hdl.handle.net/10285/580</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



## 聖路加看護学会設立趣意書

我が国における社会の変貌は著しく、特に、科学技術の進歩と共に、様々なことが大きく発展してまいりました。健康問題も多様化し、21世紀の高齢化社会に向けて、高度な医療技術に伴い看護に目が向けられるようになり、社会からも大きな期待が寄せられております。そして、看護学の立場からも、研究的取り組みが質・量ともにますます重要となってきました。

聖路加看護大学は、大正10年（1921年）に創立された聖路加国際病院附属高等看護婦学校を母体とし、その後、聖路加女子専門学校、聖路加短期大学を経て、昭和39年に4年制の聖路加看護大学と発展してまいりました。さらに昭和55年には大学院看護学研究科修士課程が、昭和63年には我が国で最初の看護学の博士課程が設置されました。これまで卒業生・修了生は、看護界の臨床、教育・研究、行政等の各分野ですでにそれぞれ活躍しております。しかし、それらの現実をみると、必ずしも、研究のための十分な環境条件が整えられているとはいえません。各分野の看護研究が積み上げられ、その成果が教育に活かされ、また看護の質の向上に役立てられていくことは急務であります。そして、そのことは看護研究の集積となり、看護の理論化に大きく貢献することでもあります。

聖路加看護学会設立の目的は、聖路加看護大学の建学の精神を継承し、実践を重視する看護の学的体系化の一翼を担うことにあります。教育・実践にある人々が一体となって、看護学の発展と会員相互の学術的研鑽を重ねることが重要と考えられます。そこで、そのような学術交流の場として、聖路加看護学会を設立することにいたしました。

幸いに、新校舎が平成8年に完成されることになっておりますので、設立の時期としては、平成8年4月1日をめどに準備を進めるつもりでおります。本学会設立の趣旨にご賛同いただき、ご入会いただきますようお願い申し上げます。

### ●聖路加看護学会設立発起人

飯田澄美子	石井 享子	石塚百合子	伊藤 和弘	井部 俊子
今村 節子	岩井 郁子	氏家 幸子	及川 郁子	太田喜久子
岡谷 恵子	小澤 道子	小野 正子	掛本 知里	香春 知永
川名 典子	菊田 文夫	菊池登喜子	木村登紀子	黒田 裕子
菅野 要子	神津 弘	小島 操子	小松 浩子	小松美穂子
小山真理子	佐山 光子	柴田 理恵	助川 尚子	高田 早苗
田村 正枝	田村やよひ	寺田 秀夫	千葉はるみ	常葉 恵子
中山 洋子	野地 有子	野村 陽子	羽山由美子	菱沼 典子
日野原重明	日野原茂雄	平野かよ子	深谷 計子	藤枝 知子
堀内 成子	丸山 知子	野末 聖香	三上 隆三	水口 公信
南 由起子	宮坂 義彦	森 明子	山中久美子	山本あい子
山本 俊一	吉田 時子	渡部 尚子		